

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：かしの木ケアセンター（単位2 くろす）	種別：生活介護
代表者氏名：福應 渉	定員(利用人数)：20 名
所在地：〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳北永井381-3	TEL 049-258-0515

③評価実施期間

令和 5 年 月 日（契約日）～令和 6 年 月 日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の意思を尊重した支援を職員の共通認識としている  
 利用者が話をしたい時には、いつでも話せるようにしている。事業所の中で直接話すこともあれば、電話やメール、手紙など方法は様々である。その人の希望に合わせて聞いており、職員は、解決が必要なことはすぐに共有し、報告することを日常としている。厨房職員の協力による選択食は、利用者にも人気であり、何を選ぶかについての会話が生まれる。

虐待防止ウィークを設定することで、利用者、職員に虐待についての意識付けをしている  
 虐待防止ウィークには、「話したいことがあればお話をして下さい」と放送をし、職員と利用者呼びかけている。アンケート結果は部会の議題に挙げて検討し、具体的な事例に対してグレーと思う、思わないなどの集計結果を研修テーマに盛り込むこともある。特に、虐待のグレーゾーン研修は、複数回実施することで、非常勤職員も参加できるようにし、全職員が虐待に対する知識を得、虐待防止の意識付けを徹底している。

個別の支援マニュアルを作成し、どの職員も個々に合わせた支援ができるようにしている  
 障害種別の特性や基本介助については個別性が高い。事業所では、法人共通のマニュアル以外に、利用者個別の支援マニュアルも作成している。送迎時の車いすの止め方、食事の自助具、座席の場所、足上げの対応等、利用者ごとに異なる支援方法は、職員が支援の実践の中で修得することが多い。事業所では、それを職員個人の知識とせず、事業所全体の知識となるよう工夫している。マニュアルには、写真が貼付され、細かく対応方法が記載されているため、どの職員も対応を覚えることができ、事業所全体のサービスの質の向上に役立っている。

◇特にコメントを要する点

体験型の訓練・研修を再開し、研修内容が更に充実することを期待する  
 コロナ禍には、人との接触に制限が生じていたため、訓練・研修の実施が以前のようにできていない状況である。写真を使った利用者ごとの支援マニュアルの作成などで、利用者の個別性に対応するための工夫がみられるが、書面よりも体験から得られることが大きいこともある。新型コロナウイルス感染症が5類になり、少しずつ以前の生活が戻りつつあるので、実際に体験できる研修も取り入れ、研修内容が更に充実することを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、2回目の第三者評価受審でしたが、改めて丁寧な調査、聴取をして頂き大変感謝しております。今回は①利用者の意思を尊重した支援を職員の共通認識としている点、②虐待防止ウィークを設定することで、利用者、職員に虐待についての意識付けをしている点、③個別の支援マニュアルを作成し、どの職員も個々に合わせた支援ができるようにしている点において高く評価して頂きました。また、コロナ禍では、人との接触に制限が生じていたが、少しずつ以前の生活が戻りつつあるので、実際に体験できる研修も取り入れ、研修内容が更に充実することを期待すると助言頂きました。脱コロナという大切な時期に入っていき事になりますが、今回の助言を大切に人材育成と施設運営に努めたいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり